

看護大学生が4年次に助産課程履修を希望しなくなる理由に関する一考察 —母性看護学実習での学び体験から—

新潟医療福祉大学看護学科
田中麻優、塚本康子、浅島宏美

【背景・目的】現在、全国の就業助産師数は平成14年の24,340人から平成24年31,835人¹⁾へと増加している。助産師養成数も増加している中で、大学入学時に助産師を希望し助産課程を選択していても、4年次には履修を希望しなくなる学生も多い。看護専門学校の学生を対象にした研究では、学生が助産師資格取得に最も興味をもっているのは1年次であり、2年次、3年次になると実習を通して進路を現実的に考えるようになり、進学を希望する学生が減る²⁾、と報告されている。

母性看護学実習での分娩見学体験は、「出産の喜びに包まれる場が現出し、それらの場全体から生命誕生への畏敬の念に満たされる」³⁾し、「分娩見学を通して感動と共に母性に対する考え方が変化したり、立会い分娩により母子と父が皆で頑張って出産を終えた場面に立ち会えたりすることで、母性観が深まる」⁴⁾。一方で、学生の体験として、満足体験「感動と感謝」と喪失体験「否定的感情」の両方を得られるという研究報告⁵⁾もある。

学生が助産師を選択した理由には、「生命誕生への感動、興味があったから」「助産師への憧れ」等があり、進学前に分娩見学や実習中から助産師に着目していた⁶⁾。

以上のことから、本研究では助産課程履修を希望していた看護大学生が助産課程履修を希望しなくなる理由を、母性看護学実習の体験から明らかにする。

【方法】新潟医療福祉大学看護学科3年次に助産課程を選択していた現4年生14名のうち、助産課程選考試験を受験しなかった学生を対象とする。研究者が協力依頼し、本研究に同意を得られた3名に30～45分程度の半構造化面接を実施した。分析は以下の通りとした。①ICレコーダーを再生し、逐語録を作成する、②逐語録をよく読み内容を理解する、③内容をコード化する、④意味内容が同じようなコードをまとめてサブカテゴリー化する、⑤サブカテゴリー化したものをカテゴリー化する、⑥以上のことから考察する。

【結果】対象者の概要を表1に示す。母性実習で分娩見学体験ができたのは2名、4年次の助産課程履修を希望しなかったが卒業後、助産師を志望しているのは1名であった。

表1.対象者の概要

対象	年齢	分娩見学	助産師志望
A	22	有	無
B	21	有	有
C	21	無	無

分析した結果、母性看護学実習での学び体験として「助産師は魅力的だが自分にできるか不安」「消極的だった自分への後悔」、助産課程の履修をやめた理由として「キツイ助産実習へ自信のなさ」「中途半端になって失敗したくない」「選択の一つとしての助産課程」「専門的な助産師より一般的な看護師への興味」等のカテゴリーが抽出された。

【考察】学生は、実習のなかで助産師の魅力を感じる一方で、大変さや自分にできるのか不安と感じている。それに加え、他領域の実習を通して、自分の興味ある分野を見出したり、自分が本当に助産師になりたいのかを考えなおす機会を得ていると考えられた。これは、山本らの実習を通して進路を現実的に考えるようになり、助産専攻を希望する学生が減る⁴⁾、という研究報告に類似する。

4年次には助産実習と並行して、就職試験、卒業研究、国家試験対策を行うため、「キツイ助産実習への自信のなさ」や「中途半端になって失敗したくない」という気持ちがうまれていると考えられる。これらの消極的な感情は、先輩達から助産専攻に関する具体的な体験を聞くこと、なかでもネガティブな感想が気持ちの変化に繋がっていると考えられた。また、教員は学生一人一人の抱えている本当の気持ちを聴き、母性看護学実習での学びや体験を支えるサポートがさらに必要ではないかと示唆された。

【結論】母性看護学実習での学び体験は、「助産師は魅力的だが自分にできるか不安」「消極的だった自分への後悔」が抽出された。助産課程履修をやめた理由は、「キツイ助産実習への自信のなさ」「中途半端になって失敗したくない」「選択の一つでの助産課程」「専門的な助産師より一般的な看護師への興味」が抽出された。

【文献】

- 1)厚生労働省、平成24年度行政報告例(就業医療関係者)の概況、平成27年6月22日閲覧
http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/12/dl/h24_gaikyo.pdf
- 2)山本加奈子(2010)、助産師を志望する看護学生の進路選択に関する一考察—看護学生の意識調査を通して—、津山中央病院医学雑誌、24巻1号：103-106
- 3)井上沙織、佐々木明香(2014)、母性看護学実習での分娩見学体験の学び、第44回(平成25年度)日本看護学会論文集：122-125
- 4)伊藤良子、中野雅子(2010)、分娩期実習における看護学生の体験と学び、京都市立看護短期大学紀要、35巻：123-128
- 5)徳田真理子、甲斐寿美子(2007)、母性看護学実習後における学生の意識変化、帝京平成看護短期大学紀要第17号、3巻：21-25
- 6)三崎直子ら(2003)、助産師学生の進学動機と助産師のイメージ、弘前大学保健紀要、2巻：45-51